

## 会議録

会議の名称	第49回茨木市こども育成支援会議
開催日時	令和5年2月9日（木） 午後6時04分～午後7時07分
開催場所	オンライン会議、市役所本館4階会議室（職員）ほか
出席委員	石井委員、上田綾委員、上田沙知絵委員、大高委員、久保委員、下田平委員 西川委員、棚田委員、畑瀬委員、濱委員、福田委員、前田委員、三角委員 宮島委員、宗清委員、脇條委員 （五十音順）
欠席委員	加藤委員、北野委員、濱園委員 （五十音順）
事務局	山寄こども育成部長、東井こども政策課長、村上子育て支援課長、 中路保育幼稚園総務課長、下菌保育幼稚園事業課長、山内学童保育課長、 松山人権・男女共生課長、澤田福祉総合相談課長、莫根生活福祉課長、 梶西学校教育推進課長、西川保育幼稚園総務課管理係長、 白波瀬こども政策課課長代理兼政策係長
案件	■会議案件 （1）茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）実施状況報告について （2）特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員（認定）について （3）答申書（案）の作成について ■その他
配付資料	資料 茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）実施状況報告書 資料 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員（認定） 当日資料 事前質問への回答

発 言 者	発 言 内 容
東井こども政策課長	<p>ご案内の時間となりましたので、茨木市こども育成支援会議を開催いたします。</p> <p>本日は、大変ご多用のところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>なお、本日も、新型コロナウイルス感染症対策のため、会議の開催方法をオンラインによる開催とさせていただきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の委員の出欠状況について報告いたします。</p> <p>あけぼの学園、親の会会長、加藤敏子委員。私立幼稚園連合会、茨木高美幼稚園園長、北野圭子委員。青少年指導員連絡協議会副会長、濱園明洋委員につきましては、欠席の連絡をいただいております。</p> <p>なお、西川印刷所、西川幸子委員につきましては、欠席の連絡をいただいておりますので、遅れて後ほど出席していただけるものと考えております。</p> <p>つきましては、本日 20 人の委員のうち 15 人に出席をいただいております。また、神戸総合速記株式会社が会議録作成のため、この会議に同席しております。</p> <p>それでは、茨木市こども育成支援会議条例第 6 条第 1 項の規定により、会議の議事進行を福田会長にお願いいたします。</p>
福田会長	<p>皆さん、よろしくお願いいたします。こんばんは、福田でございます。</p> <p>それでは、本日の会議につきましては、先ほど報告がありましたように、半数以上の委員に出席していただいておりますので、こども育成支援会議条例第 6 条第 2 項により成立しております。</p> <p>なお、審議内容につきましては、これまでどおり、発言者のお名前をつけて公表させていただきたいと考えておりますが、この件につきましてご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、会議録作成の関係上、どなたが発言されたのか分かるように「〇〇です」とお名前をおっしゃっていただいてから、発言をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、前回の続き、茨木市次世代育成支援行動計画(第 4 期)に係る実施状況報告書の、子どもの貧困対策、146 ページから 157 ページにつきまして、ご意見、ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか、こちらにつきまして、皆様方のご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>こちらよろしいでしょうか。特にご意見ございませんか。</p> <p>(質問者なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご意見等ないようですので、会議案件の 1 番目、「茨木市次世代育成支援行動計画(第 4 期)に係る実施状況報告」については、質疑を終了したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは引き続き、会議案件の 2 つ目でございます。「特定教育・保育施設</p>

	及び特定地域型保育事業の利用定員の確認」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
西川保育幼稚園総務課管理係長	<p>保育幼稚園総務課管理係長の西川と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員」の説明に入る前に、こども育成支援会議の子ども・子育て支援法上の役割等について簡単に説明させていただきます。資料1ページ、「茨木市こども育成支援会議の所掌事務について」をご覧ください。</p> <p>茨木市こども育成支援会議は、子ども・子育て支援法第77条第1項に基づき、茨木市こども育成支援会議条例により設置されている会議となります。</p> <p>当会議の所掌事務としては4つございます。1つ目と2つ目は、市町村が特定教育・保育施設または特定地域型保育事業の確認を行い、利用定員を定める際に審議を行うこと。3つ目は、市町村が市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、または変更をしようとする際に審議を行うこと。4つ目は、市町村における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議することです。</p> <p>今回、私からは1つ目の役割に関係し、令和4年度から令和5年度中に利用定員を定める、または変更しようとしている特定教育・保育施設の利用定員について説明させていただきますので、ご意見等ございましたらおっしゃっていただければと思います。</p> <p>では、資料の4ページをご覧ください。中央ブロックから北ブロックまでの表になっているページになります。こちらにつきましては、ブロックごとと、市域全体の令和4年4月と令和5年4月の利用定員及びその差を1号、2号、3号の認定別に、また「3号認定子ども」についてはゼロ歳児と1・2歳児別に表しています。</p> <p>まず、中央ブロックではゼロ歳児が10人の増加、1・2歳児が20人の増加で、3号認定は合計30人の増加、2号認定で15人の増加、1号認定で75人の減少となっており、ブロック合計で30人の減少となっております。</p> <p>次に、東ブロックでは、1号認定で15人の減少となっており、ブロック合計で15人の減少となっております。</p> <p>次に、西ブロックでは、2号認定で24人の増加、1号認定で9人の減少となっており、ブロック全体で15人の増加となっております。</p> <p>次に、南ブロックでは、ゼロ歳児が3人の増加、1・2歳児が39人の増加で、3号認定は合計42人の増加、2号認定で90人の増加、1号認定で60人の減少となっており、ブロック合計では72人の増加となっております。</p> <p>次に、北ブロックでは、ゼロ歳児が3人の増加、1・2歳児が21人の増加で、3号認定は合計24人の増加、2号認定で36人の増加、1号認定で15人の増加となっており、ブロック合計で75人の増加となっております。</p> <p>市域全体では、ゼロ歳児16人の増加、1・2歳児が80人の増加で、3号認定は合計96人の増加、2号認定で165人の増加、1号認定で144人の減少となっており、合計で117人の増加となっております。</p>

次に5ページをご覧ください。5ページ以降は、先ほど4ページの資料の内訳として、施設別の令和4年4月と令和5年4月の定員をブロックごとに表したのになります。今回、定員に変更があった施設は太枠で囲っております。

まず、この5ページの中央ブロックですが、こちらは、ひだまり保育園の分園である「ゆめひだまり保育園」の定員増、同じくひだまり保育園の2つ目の分園である「きらりひだまり保育園」の新設により、2、3号認定の利用定員が増加するものです。

また、「認定こども園いばらき大谷学園」の1号認定の利用定員の減少によって、中央ブロック全体の1号認定の利用定員が減少するという状況になっております。中央ブロックの変更は以上です。

次に6ページ目をご覧ください。東ブロックになります。東ブロックでは、「茨木東邦幼稚園」の利用定員設定の変更によって、1号認定の利用定員が減少するという状況です。

次に7ページ目、西ブロックをご覧ください。西ブロックにつきましては、「茨木市立沢池幼稚園」を認定こども園化いたします。また、現在確認を受けていない、私学助成対象である「春日幼稚園」より、4月から特定教育・保育施設の幼稚園に移行するための確認申請がございまして、新たに1号認定の利用定員を設定するものです。西ブロックは以上です。

次に、8ページ目、南ブロックをご覧ください。南ブロックにつきましては、「茨木高美幼稚園」が幼稚園型認定こども園となりまして、利用定員を変更、次に、「ちとせ学院T r e保育園」が新たに開設、次に、「天王こども園」が1号認定を設定することから利用定員が変更となるものです。

最後に北ブロック、9ページ目をご覧ください。北ブロックにつきましては、新たに「やまぜんこども園」が令和5年7月から開設予定となっており、利用定員が増加するものです。

私からの説明は以上です。

福田会長

事務局、どうもありがとうございました。

全体と各ブロックごとに、保育事業の利用定員の変化について説明を受けました。どうもありがとうございました。

以上の説明につきまして、ご意見、ご質問等あればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(質問者なし)

特にご意見ないようですので、会議案件の2番目、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の確認」につきましては、質疑を終了したいと思います。どうもありがとうございました。

それでは3つ目でございます。「答申書(案)の作成」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

<p>白波瀬こども政策課課長代理兼政策係長</p>	<p>こども政策課の白波瀬と申します。</p> <p>答申書の作成につきましてですが、茨木市こども育成支援会議条例第2条に基づき、昨年10月の第47回こども育成支援会議において、諮問をさせていただいております。それに基づきまして、10月、11月、それから今回お諮りした会議案件につきまして、ご審議いただきましたので、これらの案件等につきまして答申をお願いしたいと考えております。</p> <p>説明は以上になります。</p>
<p>福田会長</p>	<p>事務局どうも説明ありがとうございました。</p> <p>こども育成支援会議では、第47回の会議で市から諮問を受けまして、これまで審議を行ってまいりました。審議の結果、子ども・子育て、若者支援に係る市民ニーズ等を十分に考慮しながら、第5次茨木市総合計画のまちの将来像の一つである、次代の社会を担う子どもたちを育むまちの実現に向け、計画が着実に推進されているものと考えております。</p> <p>それを踏まえた内容で答申を行いたいと思っておりますが、ご異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ご異議ないようですので、答申書につきましては事務局と調整の上、作成させていただきたいと思っております。</p> <p>本日の案件は以上となりますが、事務局から何かありましたらお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
<p>村上子育て支援課長</p>	<p>はい、子育て支援課の村上です。</p> <p>10月28日に開催されました、第47回のこども育成支援会議におきまして、地域子育て支援拠点事業、いわゆるつどいの広場の整備につきまして、令和5年度2か所、令和6年度2か所、整備させていただきたいと、お示しさせていただきました。その件につきまして、令和5年度に4か所分の予算が確保できましたら、令和6年度に予定しておりました2か所につきましては1年繰り上げて、令和5年度内に4か所整備させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>福田会長</p>	<p>ありがとうございます。予算がつけば4か所、6年分早まって整備したいというご説明だったかと思っております。どうもありがとうございました。</p> <p>今の事務局からの説明につきまして、何かご意見、ご質問等あればお受けしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(質問者なし)</p> <p>よろしいですかね。きっと事務局も努力していただいたんだなと思っております。ぜひ、早めの整備をお願いしたいと思っております。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、一旦ここまでということになりますが、今年度の審議会としましては、今回が最後になる方もいらっしゃるかと思います。どうもありがとうございました。</p>

	<p>振り返ってみますと、今期は一度も対面でお会いすることなく会議を進めてきたということになりますかね。どうもありがとうございました。せっかくでございますので、この2年間を振り返りまして、皆さん方の忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。</p> <p>今後に向けた市へのご意見を各委員から頂戴できればなと思っておりますので、どなたからでも結構です。感想なり、ご意見なりお願いしたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(発言者なし)</p> <p>それでは、私から指名させていただいても宜しいですか。私の画面で一番左下に映っておられる大高さん、もしよろしければ、ご意見頂戴できればと思います。いかがでしょうか。</p>
大高委員	<p>大高です。2年間参加させていただきまして、実際、私自身子育てをしているのですが、市のほうでたくさんの事業をしてくださっているということ、配付された資料を見たり、会議に参加させていただくことで知ることができたということがすごく大きかったと思います。</p> <p>茨木市で子育てに関するアプリがあるということも、この会議に参加して初めて知りまして、自分自身もインストールしたのですが、困ったときは今後もこういったアプリを使っていきたいなと思っておりますし、先ほど地域子育て支援拠点事業も来年度4か所の拡充を検討されているとお伺いしましたので、新しいところができたら、私も子どもと一緒に、利用させていただきたいなと思っております。</p> <p>こういった内容がもっと子育てをしているお母さんだったり、お父さんだったり、それを支えてくれている家族の人たちが知れる機会が増えたらいいなと感じております。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>大高さん、どうもありがとうございました。ぜひ、茨木市の取組が、本当に広くこの場で広がっていくことを私も願っておりますし、事務局も引き続き努力してくれることと思います。</p> <p>それでは、続いて、上田さんいかがでしょうか。お願いできますでしょうか。</p>
上田沙知絵委員	<p>こんにちは、上田です。</p> <p>私は保育所の関係で1年間しか参加できなかったのですが、資料を見ながらいろんなことを知ることが出来て、本当にいい経験になったなと思っております。茨木市がどんな取組をしているか全て知れたので、すごくよかったです。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>資料を見るとたくさんの施策があるんだなということ、ご覧になっていただけたかと思っております。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、続いて久保さん、お願いできますでしょうか。</p>
久保委員	<p>すみません。私も2年間、いろいろ知ることができて、すごく勉強になりましたし、ここで知ったことを子育て中のママに伝えていけたらなと思っております。</p> <p>私、この間芦屋に住んでいる友達と話す機会があったのですが、芦屋市には放</p>

	<p>課後に子どもを学校で遊ばせたり、いろんな行事をやってくれるような取組があると聞いたんです。それは、ネットで調べたら、文部科学省の放課後子ども教室事業という名前で、1年間その保険料として800円払うだけで、平日だったら5時ぐらいまで、学校の教室で遊んだり、運動場で遊んだりできるようで、学童保育とは別で、働いてないママや、パートさんのママでも、その日に紙に書いていけば参加できるということを知って、すごく羨ましく、いい取組だなと思ったんですが、茨木市は放課後子ども教室事業は行われているのでしょうか。あるいは、行う予定はあるのかどうかということを知りたいなと思って聞いておきたいなと思っていました。質問からはそれるかもしれませんが、よろしくお願ひします。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。 事務局、いかがでしょうか。放課後子ども教室についての質問が出ました。</p>
東井こども政策課長	<p>こども政策課の東井です。 放課後子ども教室は、茨木市でも実施しております。現在、小学校30校区で展開されていると思います。担当課は社会教育振興課で、本日欠席となっておりますので、詳細はお伝えできないのですが、地域の諸団体の方にお願ひをして、その諸団体の方が子どもたちの放課後の居場所づくりをしていただいているという状況で、実施回数は地域によってばらつきがあるとは聞いているのですが、コロナ禍で子どもたちの参加も少なくなってきたということですが、コロナ禍前に充実させていこうということで、今、取組を進めているとお聞きしております。</p>
福田会長	<p>事務局どうもありがとうございました。 放課後子ども教室は、茨木市でも実施しているということですが、おそらく、ここ数年コロナ禍の影響があつてなかなか目立った活動ができていなかったのではないかなと推察されます。おそらく、来年度以降、またぐっと学校での取組が盛り返してくると思いますので、ぜひ注目して見ておいていただきたいなと思います。 久保さん、よろしいですか。</p>
久保委員	<p>ありがとうございます。 来年度、上の子が小学校に上がるのですが、小学校からこのような教室がありますよと教えてもらえる感じですか。芦屋に住んでいる友人の話を知りたくて、そういうことをやっているところがあるということを知りたくて、芦屋はすごいなという感じでただただ羨ましいなと思っていましたので、まさか茨木市でもそういう活動をしてくださっているということを知りませんでした。</p>
福田会長	<p>なるほど。</p>
久保委員	<p>小学校から教えてもらえるのか、広報やアプリを見れば分かるのか。せっかくこの取組をやっているから、もっと多くの人に知ってもらえるような形があればいいなと思いました。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。 下田平委員、何かご存じのことがあれば、お願ひしたいなと思います。</p>

下田平委員	<p>下田平です。耳原小学校区ですと放課後子ども教室に関わらせてもらっているのですが、放課後子ども教室は、コロナ禍で、大阪モデルのレッドになったらすぐ中止になるのです。ずっと計画的にやってきて、いろいろな遊びや、教室を考えてやっているのですが、コロナで仕方ないのですが、すぐ中止になって、子どもたちも楽しみにしているのに活動できなくて、イエローになったら気をつけてまた始めてくださいという通知が来るのですが、急にそういう連絡が来てすぐには活動できないという難しさもありまして、正直、この3年間だんだんとスタッフも気持ちが落ちてきて、辞めていく人もおられたり、スタッフを確保することがすごく難しい状況になっています。</p> <p>先ほどのご質問ですが、学校に入ったら案内がくると思います。各小学校区でやっていることは違っていて、宿題だけをやっているところや、いろいろ力を入れてやっているところとか、ばらばらで各校区にお任せという状態になっています。</p> <p>誰でも来られる放課後子ども教室を、私のところは水曜日と土曜日にやっているのですが、やっぱり平日の小学生の居場所がないなど、つくづく今感じているところです。中学生はユースプラザができたのですが、小学生が遊べる場所、安心していられる場所、公園も少ないし、ボールを使って遊べる場所も少ないですし、学童が終わった後、また、学童に入れない4年生以上の子どもたちの行き場所が少なくなっているなどということを感じています。放課後子ども教室についても、子どもたちが行きたいと思うものでなければなかなか来ないです。運動系、文化系、手芸など色々するのですが、やっぱり子どもたちが気に入ったものでないと来ないというところもあって、本当に難しいなと思っています。</p> <p>あと、もう一点あるのですが、ヤングケアラーの件です。いろいろと、今、こども政策課でされているのですが、いろいろ研修会をさせてもらって、虐待や不登校にすごく関係してるなということを感じて最近思うようになったので、ヤングケアラーについて色々な人にもっと周知してもらって、みんなで見守りできる体制ができたらいいなと思っています。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>下田平委員、本当にありがとうございました。</p> <p>小学生の居場所の問題、それからヤングケアラーの問題です。放課後子ども教室をどういう形で、今やっておられるのかについてお話しいただけたかなと思います。本当にこの会議では下田平委員には長らく色々な形で実践を踏まえて、ご提言、ご意見を頂戴したと思います。ありがとうございました。</p> <p>また、今のご意見を踏まえて我々も思いを新たにしたりもしていますし、事務局も来期に向けてまた準備を進めてくれると思います。どうもありがとうございました。</p> <p>最初に久保さんがおっしゃっていたご質問については、学校へ行き始めたら情報が来るという理解でよろしいですか。</p>
山内学童保育課長	<p>学童保育課長の山内です。</p> <p>放課後総合プランというものがあって、学童保育と放課後子ども教室とを</p>



	<p>連携して実施しているところがございます。その放課後子ども教室の部分ですが、今、下田平委員がおっしゃっていただいたように、各校区で実行委員を組織していただいております、そちらで受付ということになります。校区によって受付方法や受付時期が異なっております、各校区の実行委員から出される案内があるかと思っておりますので、ぜひそちらをご覧くださいと思います。</p> <p>実施場所は、小学校の教室などを活動拠点とし、運動場や体育館、その他学校の中の施設を利用されているという状況です。先ほどの保険料のことですが、費用は基本的には無料で実施されておられますが、講座によって実費が必要な場合があります、登録時に傷害保険に加えて、それぞれの講座によって諸費用がかかってくる場合があると聞いております。よろしく申し上げます。</p>
<p>福田会長</p>	<p>事務局どうもありがとうございました。小学校に上がったら、またいろいろ楽しみなことがあると思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、続いてご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>続いて、棚田さん、お願いできますでしょうか。</p>
<p>棚田委員</p>	<p>棚田です。こんばんは。オンラインなので、なかなか意見を言うのが難しい状況ではあったのですが、資料を読むと茨木市がいろいろ子育て支援をしてくださっていることが分かって、こういうふうにしてるんだなということを感じられました。</p> <p>ただ、そういう大事な情報が必要な人に届いているのかなということが、私の周りではあって、もっと情報を知りたい人は、自分で情報を知ろうと、いろいろ探したり、助けが必要なときに助けてほしいと言えるのですが、本当に助けが必要な人にまで届いているのか疑問に思ったので、いろんな人に伝わる方法がもう少し何かあればいいなと思いました。</p> <p>あと、貧困対策にすごく力を入れているなと思うのですが、貧困世帯に当たらない中間層にもしんどい家庭はたくさんあると思いますので、そこにも支援が届けばいいなと思います。年収関係なく、子どもたち一人一人が何の心配もなく、中学校、高校生活を送れるように、茨木市独自の対策があればいいなと思いました。</p> <p>以上です。ありがとうございます。</p>
<p>福田会長</p>	<p>棚田さん、どうもありがとうございました。</p> <p>この会議に入ると、市がこれだけの施策をやっているんだということが分かるのですが、そうでないと、茨木市は何かやっているのかなみたいな話になってしまいます。ぜひ事務局の皆さん、控えずにうちもやっているということを、市民の皆さんにアピールしていただければいいのかなと思いますし、また、棚田さんからのお話では、市独自の取組もどんどん進めてほしいということだったかと思っておりますので、ぜひ知恵を絞って進めていただければと思います。棚田さん、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、続いて前田さん、お願いできますでしょうか。よろしく申し上げます。</p>

前田委員	<p>すみません、前田です。</p> <p>私も放課後子ども教室、郡山小学校区の代表を少しさせていただいてもらってまして、感じることは、地域によってスタッフの人数が異なるということと、あともう一つ気がかりなことは、スタッフが高齢の方ばかりで若手の人がないので、子どもたちと遊ぶといっても、見守りはしますが、基本的には子どもたちが自由に遊んでいるという形になっています。</p> <p>スタッフが本当に高齢なので、その当時、開催の日に来れるかどうか分からないということで、日によってはスタッフが5人であったり、多いときは10人であったり、ばらつきも出てくるので、若い人たちがもう少し気軽に子どもたちのことを見ていけるようになればいいなと思うのですが、今、物価も上がっている状況で、働いているお母さんたちが非常に多いので、平日にスタッフの確保がなかなか難しい状況になっていると思います。ただ、開催すると子どもたちは、楽しかった。また来たい。次はいつやるの、と声を掛けてくれるので、すごく意味のある場所ではあると思っています。</p> <p>また、会議にこうやって出させていただいて、茨木市も本当にいろんな施策をされているんだなということを実感して、本当にいい経験になりました。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>前田さん、どうもありがとうございました。</p> <p>地域の人材、担い手ですね。本当にどう確保していくのか、おそらく、どこも難しい課題を抱えておられると思いますが、来期以降もまた、この会議でチャンスがあればぜひ議論していきたいなと思います。事務局の皆さん、よろしく願いしたいと思います。それでは、続いて上田さん、お願いできますでしょうか。</p>
上田綾委員	<p>つどいの広場のスタッフをしています、上田綾です。よろしくお願いします。</p> <p>私も1年間だけだったのですが、せっかくこういう機会をいただいたので、つどいの広場でいつもママたちから聞くお話を少ししたいなと思います。最近、保育園の入園通知が来る時期ということもあって、よく聞いた話では、本当は1歳過ぎてから保育園に入れたいけど、ゼロ歳のうちに入れないと入りにくくなると聞いたので、ゼロ歳から入れるんですとか、あと、幼稚園1号認定の方で、本当は公立の認定こども園に入れたいけど、倍率が高くてすぐ抽せんに落ちると聞いたから、諦めて違う幼稚園にしようと思っているという話をよく聞きます。</p> <p>今回の前半の案件説明で、幼稚園、保育園の利用定員が、全体的には増加してまますということで、それはすごく良いなと思うのですが、本当はここに入れたいけど諦めてこっちに入れるというママの声を結構聞きますので、実際、例えば保育園入れるにしても、第1希望から第5希望まで書いて、何とか第5希望に入れましたという声も聞きます。落ちる方もおられるので、入れたことはいいんですが、本当は第1希望のところに入りたかったという、そのママたちの本当のニーズというか、その数字上の実績には表れてこない、本当のニーズに応えるという取組もしていらっしゃるとは思うのですが、今後はその辺も活かして欲しいなと思います。ママたちの声を届けるせっかくの機会だと思いましたので、それぐらいです。ありがとうございました。</p>

<p>福田会長</p>	<p>上田さん、どうもありがとうございました。</p> <p>就学前の教育・保育施設について、どこに入るのかというところで、ここ数年、茨木市としては何とか待機児童をゼロにしたいというところで、かなり力を入れて施策を進めてきて、ほぼ達成されていると思うのです。ただ、単にゼロになったということだけではなく、その入った先が本当に希望に沿っているのかというところですね。ただ単に、近いところに通おうと思ったら集中しますので、第1希望から第5希望までどこでも入れたいなという施設になってもらえたら、先程のような残念感は少なくなると思います。</p> <p>ぜひ、今後、どこでも入れたいな、どこに入れようか迷うような、という教育・保育施設の質というものを上げていく、そういう取組をお願いしたいな、という声かなと思いました。どうもありがとうございました。貴重なお声を頂けたかなと思います。</p> <p>それでは、三角委員いかがでしょうか。今の話を受けながら、全体を通して、よろしく願いいたします。</p>
<p>三角委員</p>	<p>皆さん、こんばんは。私立保育連盟の三角です。今期2年間ということなのですが、コロナが本当に大変で皆さんの子育ても行政も大変だったのではないかなと思います。</p> <p>コロナが今度5類に移って、これからどうなっていくのかなというところですが、まず、前回か前々回ぐらいに、子育てに関する悩みやその他いろんな相談をどこに持っていったらいいのかという話があったと思うのですが、今、茨木の園には、ほぼどの園にも「スマイルサポーター(地域貢献支援員)」がいます。これは、大阪府知事が認めた資格を持った職員で、何十時間という研修を受けて取る資格です。そういうスマイルサポーターがいますので、なかなか勇気がいるのかもしれないですが、どんどん近くの保育園、こども園に飛び込んでいただければなと思っています。</p> <p>それから、今後のこども育成支援会議の件ですが、岸田首相が言っておられたように、「次元の異なる少子化対策」が、一体どうなっていくのかな、どんな対策をされるのかなというところで、茨木市もすごく頭を悩ませる部分が出てくるのではないかなと思います。先ほど保育のニーズというお話がありましたが、福田会長が申されたように、茨木市の園でも、本当にどの園に入っても、みんな同じようなすばらしい保育をしているよということを大きな声で言っていきたいなと思っています。また、これから「おにクル」もオープンします。子育て支援の、いわゆるメインタワーのような感じの施設になるとのことで、私たちもすごく期待しているのですが、その「おにクル」を拠点に、子どもの支援、子育て支援をどこまでやっていけるのか、ただ、確実に子どもの数は減っていくという中で、行政の方々とも一緒に考えて、また、この春から子ども家庭庁ができますので、子ども家庭庁の動き方もしっかりと見て、行政とタッグを組み合わせながら、しっかりした子育て支援を考えていきたいなと思っております。以上です。</p>
<p>福田会長</p>	<p>三角委員、どうもありがとうございました。</p> <p>まず、最初にお話がありましたスマイルサポートですが、委員の皆さんは、ご</p>

	<p>存じだったでしょうか。もし、ご存じなかったら、ぜひ頭の片隅に入れていただいて、何か身近な相談をしたいなという方がいらっしゃいましたら、茨木市のほとんどの園にいらっしゃるといことですので、ぜひスマイルサポーターに相談していただきたいなということかなと思います。どうもありがとうございます。</p> <p>また、先ほど三角委員からお話がありましたように、国の動きの影響を受けて、茨木市も施策を進めていくことになると思いますが、今後、各基礎自治体に影響のあるような国の動きがあらうかと思っています。ぜひ、遅れず茨木市でも施策を進めていっていただきたいなと思います。また、市役所の前に「おにクル」ができるということで、茨木市に生まれ育つ子どもが知らないということがない施設に、今後なっていくと思いますので、ある意味楽しみだなと思っています。そこでの様々な取組を通して、子育て支援施策を進めていただきたいなと思いました。三角委員、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは続いて、濱委員、お願いできますでしょうか。</p>
濱委員	<p>濱です。</p> <p>私も幼稚園の推薦で1年間の参加になったのですが、いろいろお話を聞いている中で、子育てをされている皆さんと同じ悩みを持っているんだということも改めて分かりましたし、それに向けて茨木の子育てサポートの方々がいいろいろ努力していらっしゃるんだということも改めて分かって、本当によかったなと思います。いい経験をさせていただきました。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>では、石井さん、お願いできますか。</p>
石井委員	<p>茨木市PTAから参加させていただいております、石井と申します。私も1年間の活動となりました。感想といたしまして、ふだん知り得ない情報も得ることができまして、本当に貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。</p> <p>子育てという分野においても、市として本当に多くの分野に取り込まれているということを感じました。その中でも、デジタル社会が進む中で、まだまだ子育て分野でも、自治体DX化を進められると思っていますし、茨木市としてもまだまだできることがあるのではないかなと感じました。</p> <p>コロナ禍で、新たな取組ばかりで試行錯誤が続くかと思いますが、前の時代に戻ることはできませんので、全ての考えをアップデートして、ぜひ子育てしやすく便利な行政運営をお願いできればと思います。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>石井委員、どうもありがとうございました。</p> <p>ぜひ、茨木市には、新しいデジタル時代にあった行政運営をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは続いて、下田平委員、いかがでしょうか。先ほどご発言いただきましたが、最後に何かご意見等ありましたら、いかがでしょうか。</p>
下田平委員	<p>すみません、特にないです。ありがとうございます。</p>
福田会長	<p>はい、どうもありがとうございます。</p> <p>それでは、この審議会という場では、行政に対して物事をしっかりと、批判的に</p>

	<p>見ながらよりアップデートしていくことも必要かなと思っていて、そういった意味では、今期、宮島委員にはたくさんのご意見を頂戴し、本当にありがたいなと思っています。</p> <p>宮島委員、全体を通して、また、今後に向けてのお話もいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
宮島委員	<p>こんばんは。市民委員をしておりました宮島です。</p> <p>私も2年間、委員をさせていただいて、最初に接したときに自分の知らないことがいっぱいあったので、自分なりにいろいろ調べて意見が出せればいいなと思って事前の質問を出させていただいたのですが、きつい言い方になるのですが、正直言って納得できない回答がかなり多かったです。その後も、質問を書かせていただいて、その回答をいただいたのですが、正直私はそれに納得できなかったです。何かあらかじめ答えが用意されていて、それをただ単に素通りする感じで、政治家が回答するような感じの回答の仕方になっているなと思っていて、いろいろ勉強させていただいたことはすごくありがたかったのですが、何かストレスが増したという気がしております。</p> <p>また、皆さんがおっしゃっているように、確かに市としてはすごく多くの施策に取り組んでいらっしゃるけど、茨木市もまんざらやってないわけではないんだなということが、この会議に出席して初めて分かったと、皆さんもおっしゃっていたのですが、とにかく広報が下手ということが確実に言えると思います。これをやってます、逆にこれはやっていません、という部分をはっきりさせて、丁寧に外に情報を提供するという形にしないといけないと思うのです。それがきちんと整理されて、皆さんに分かりやすいような形になっているかどうかという、上手にできていないような気がするので、もう少し考えるべきだろうなと思います。せっきく、子育てに非常に有効なものに取り組んでいて、役に立つよという部分があるはずなのに、そこの部分がきちんと整理した形で提供されていない。情報を出すということは上手に見れなければいけないのに、その部分の情報が整理されてなくて、皆が取りやすい形になっていないと思うのです。</p> <p>それから、私が防災であるとか、青少年健全育成の畑を歩いてきたので、どうも子育ての部分は畑違いでよく分からなかったのですが、今年度に入って、いわゆる保育の問題という部分ですごく気になる事態が続いております。これは今日の話にも関わってくるのですが、キャパの部分はどういうふうに評価するかですね。保育所として、求める品質が提供されているという形になっていないといけないと思うのですが、それが本当にできているのか、しっかり検証する必要があると思います。</p> <p>今、茨木市のホームページで保育士の募集をされているのですが、なかなか集まりにくいという部分もあるのかもしれないですね。今、保育の部分も非常に厳しい環境になっていて、特にコロナ禍ということで、いろいろコロナ対応する部分で新しい作業も入ってきているので、過負荷になっている部分もあるでしょうし、少し待遇的に恵まれていない部分があるのではないかなと思うのです。だから、そういうところを見逃したまま、きちんとやりましょうという掛け声だけで</p>

	<p>は、また問題が発生すると思うのです。</p> <p>定員の問題で、この定員の妥当性はどこから来るのかと思って、吹田、高槻の配置基準を調べてみましたらほぼ横並びでした。それが悪いとも、いいとも、私は分からないのですが、それに見合うキャパになっているのか、保育士の方がきちんと設定されているのか、そこにいらっしゃる保育士の方が過負荷になって、手が回り切らない状態が日常茶飯事発生していて、そのために精神的にすごくつらい思いをされているのではないかという気がしています。あまりにも待遇が低いと思うので、もう少しきちんと待遇をしないと、募集はするものの、こんな状態では入れないよと思う方も多いのではないかなと思いますので、その辺りも含めた形で考えていかなければいけない部分があると思います。この会議では、もう少しその辺りを突っ込んで、意見を出し合って議論していく必要があると思っています。</p> <p>2年間早かったのですが、正直言って私は消化不良かなと感じておりますが、また、何らかの形で接触することができればいいなと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>福田会長</p>	<p>宮島委員、本当にありがとうございました。</p> <p>おそらく、3点ほどお話しただけかなと思います。まず1つ目の、今回の会議のあり方についてストレスがあったというお話だったと思います。これは行政と関わりながら何らかの子育てに関わったり、福祉に関わるような仕事をしている人たちの多くが感じているストレスと近いのかなと思っていて、いわゆる世の中にはお役所仕事という言葉がありますが、なかなか市民が思ったように行政が動いてくれない、もしくは思ったとおりの答えが出てこないということは、いろんな方が感じているところかもしれません。</p> <p>ただ、この2年間、宮島委員から頂いた提言によって、審議会の中で議論した市の答えは相当アップデートされたなど、会長としては感じております。まだ不足している部分はきっとあろうかと思いますが、宮島委員からのご意見が、アップデートするに当たって大きな力になったと、私としては感じておりますので、お役所仕事ではありますが、茨木市のお役所仕事は一味違うぞとみんなが感じられるような仕事ぶりになっていただけると、今後のご意見を頂戴いただけたらと思います。</p> <p>また、2つ目に言っていただきました情報の出し方についてですが、そんなことやってたんですか。知らなかったです。という話は毎回出るんです。そうならないようにどうあるべきなのか、市がやっていることをどんどんアピールしていくということが、市にとっては必要なのだろうと思います。</p> <p>それから、最後にお話しいただいた保育が抱える問題です。これは、長年大きな問題として、専門家の間では取り組まれていながらも、なかなか大きな社会問題になり得なかったところが、いよいよ様々な形で報道され、問題として挙がってくることによって、多くの方々にも同じ問題意識を持っていただけるようになったのではないかなと思います。一自治体でできる場所も一定あると思いますし、何を何のために保育していくのか、そういった基本理念をどこに置くのかに</p>

	<p>よっても保育の中身はきっと変わってくると思いますので、保育士の先生方にとって可能な範囲で、子どもの育ちにプラスになるような保育を、ぜひ茨木市で目指していただきたいなと思います。一足飛びに待遇が改善されることはなかなか難しいと思いますが、おそらく、ここに集まっている皆さん方と宮島委員の思いはほぼ変わらないのではないかなと思っております。</p> <p>宮島委員、この2年間本当に様々なご意見、ご提言をいただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後になりますが、いつも大きく見守っていただいて、ありがたいなと思っております。畑瀬委員、お願いできますでしょうか。</p>
畑瀬委員	<p>こんばんは、2年間本当に私自身もいろいろと勉強させていただきました。</p> <p>先ほどお話しに上がりました保育士さんの問題ですが、子どもの養育に当たる職員のマンパワーと申しますか、人数、配置基準は、年々上がってきているのですが、子どもも難しくなってきたりする中で、私ども児童養護施設の世界もかなり厳しい状況ではございます。ただ、目の前に子どもたちがいる中で、それぞれみんな精いっぱいやっております。最終的には、そこに従事する養育者が何を考え、何を思って目の前の子どもに当たっていくか、それが大事になってくると思いますので、本当にしんどい状況ではありますが、いつか明るいことがあると信じながらやっていきたいと思っております。</p> <p>コロナの影響でなかなか皆さんと一緒することができなかったのですが、本当にいい時間を共有させていただいたと思っております。ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>畑瀬委員、どうもありがとうございました。</p> <p>以上で、皆さんからのコメントを頂戴できたかなと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>一旦、今日の会議はここまでとさせていただいて、事務局にお返ししたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
東井こども政策課長	<p>皆さん、ありがとうございました。</p> <p>先ほど会長もおっしゃっていただきましたように、今年度の会議はこれで最後となります。冒頭にも皆さんにお伝えしましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの開催となりました。ご不便をおかけしましたが、無事に審議を終えることができ、改めてお礼申し上げます。</p> <p>また、コロナの感染状況もございますが、一堂に会してのこども育成支援会議も検討したいと思っておりますので、引き続き委員になられる方につきましては、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、事務局からもう一点ご連絡させていただきます。</p>
白波瀬こども政策課課長代理兼政策係長	<p>こども政策課の白波瀬です。</p> <p>皆様をお願いしております委員の任期につきましてですが、来月末までとなっております。これまでお忙しい中、こども育成支援会議にご参加いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>なお、再任をお願いしております委員の方には、来月以降委嘱状等を送付させ</p>

	<p>ていただく予定にしておりますので、引き続きよろしく願いいたします。 以上になります。</p>
福田会長	<p>事務局どうもありがとうございました。 これをもちまして、第49回のこども育成支援会議を終了させていただきます。 本当に円滑な議事の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。 以上でございます。ありがとうございました。</p>